

情報活用能力育成のための指導事例【中学校 第1学年 数学】

| | | | |
|------------------|--|--|---|
| 単元・題材名 | 資料の活用 | 指導時間（本時） | 13/15 |
| 本時の目標 | 教科・科目 | ・ 表計算ソフトを利用し、教科書にある資料を分析し、実態を説明することができる。 | |
| | 情報教育（3観点8要素） | <p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表計算ソフトを活用し、情報を表にまとめる。(モA31-3-010) ・ 表計算ソフトのグラフ機能を利用し、整理した情報の特徴を分かりやすく示す。(モA32-3-010) <p>■必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の観点から情報を整理し、まとめる。(モA31-4-010) ・ 複数の情報やデータから見付けた傾向や規則性を、文書にまとめる。(モA32-4-030) | |
| 活用する主なICT機器等 | ■コンピュータ ■デジタルテレビ ■ソフトウェア（表計算） | | |
| 本時の概要 | 教科書にある資料を基に表計算ソフトを利用して適切な表やグラフにまとめ、分析させる。また、資料の特徴を相手に分かりやすく説明させる。 | | |
| 本時の流れ | 主な学習活動 | | ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用) |
| | 導入 | <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を復習する 2 本時の学習課題を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を整理、分析するための方法を確認させる。 ・ 資料の分析・活用を、表計算ソフトを用いて処理することを確認させる。 |
| | 展開 | <ol style="list-style-type: none"> 3 表計算ソフトを利用した簡単な処理を行う。 4 複数の資料をグラフ化し、見やすくまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 教科書にある資料を基に、表計算ソフトに数値を入力させる。また、代表値を算出させる。 ◎ 表計算ソフトを活用し、グラフを作成させ、見やすくまとめる。 <p>※ 資料の特徴を相手に分かりやすく説明するには、どのグラフを利用すれば効果的か考えさせる。</p> |
| | 終末 | <ol style="list-style-type: none"> 5 本時のまとめをする。 6 次時の予告を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 表計算ソフトを利用した、簡単な資料の整理方法についてまとめる。 ・ 次時は、作成したグラフをプレゼンテーションソフトに貼り付け、発表の準備を行うことを伝える。 |
| 使用した教材・資料（コンテンツ） | ○名称・出典・内容など | | |
| ICT活用の指導上のポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を分析する際に、コンピュータを計算機器や教具として活用することにより、情報手段を主体的に活用できるようにする。 ・ 教科書にある資料を表計算ソフトで整理させ、代表値の算出やヒストグラムの作成等により、資料の傾向を読み取らせる。また、これらを通して、課題を解決するためにICTを用いて情報の処理の仕方を工夫する能力を身に付けさせる。 | | |
| 備考 | <p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関数や図形の領域等、視覚からの導入が効果的であると考えられる場面について、デジタル教科書を利用して課題の提示や説明を行っている。 | | |

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の実践力」→ [実践], 「情報の科学的な理解」→ [理解], 「情報社会に参画する態度」→ [態度]

「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号